

介護人材等に関するアンケート調査

調査ご協力をお願い

本市では、高齢社会における福祉・介護施策をより一層進めていくため、「尼崎市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の改定に取り組んでおります。

そのため、市内で介護保険サービスを提供する事業所様を対象に、福祉人材の確保の状況や今後のサービス提供に対する考えなどをお聞きし、計画改定の基礎資料として活用させていただきたいと考えております。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本調査は記名式とさせていただいておりますが、ご回答いただきました内容はすべて統計的にまとめますので、回答者が特定されることはありません。また、調査結果は調査の目的以外には利用しません。

令和7年●月 尼崎市福祉局

【ご記入に当たってのお願い】

1. 調査は、貴事業所の状況についておうかがいするもので、貴事業所の管理者をはじめ、各設問について最も状況を理解されている方がご回答ください。
2. お答えは、あてはまる項目を**選択**してください。
なお、「その他」を選択された場合は、**枠内**に具体的な内容を**回答**してください。
3. 本調査票の回答は次のとおりでお願いします。

(1) 回答方法

WE B回答

URL » [http:](http://)

(2) 回答期限

令和7年●月●日(●)まで

(3) 調査に関する問い合わせ先

0120-●●●-●●●● (平日) 9:00~12:00/13:00~17:00

(調査委託業者: ●●●●●●●●)

【調査実施主体】

尼崎市福祉局 高齢介護課

電話 06-6489-6356/FAX 06-6489-6528

2次元コード



前回の分科会で
お示しした修正分



委員意見を踏まえ
た修正分

問6 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員（実務者研修終了等の有資格者、無資格者、介護福祉士）についてお答えください。（数値を入力）

※1 この設問での「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。
（ボランティアの方は含みません。）

委員意見反映分

※2 前月に出勤のない、長期休暇(育児休業等)中の職員は人数に含めないでください。

※3 「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」「留学」特定技能により勤務している人数を回答してください。

常勤職員	{ } 人	{ } 人 (うち外国人 ^{※3} 職員数)
非常勤職員	{ } 人	{ } 人 (うち外国人 ^{※3} 職員数)
派遣職員数	{ } 人	{ } 人 (うち外国人 ^{※3} 職員数)
介護職員の総数	{ } 人	{ } 人 (うち外国人 ^{※3} 職員数)

2. 職員の採用、人材等について

問7 令和7年●月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等におうかがいします。過去1年間（令和6年●月1日～令和7年●月30日）の介護職員の採用者数と離職者数について、年齢別・常勤・非常勤別にお答えください。（数値を入力）

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
20歳未満	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人
20～29歳	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人
30～39歳	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人
40～49歳	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人
50～59歳	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人
60～69歳	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人
70～79歳	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人
年齢不明	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人
合計	{ } 人	{ } 人	{ } 人	{ } 人

問8 貴事業所において介護職員は十分に配置されていると思いますか。(1つに○)

1. 十分に配置されている→問9へ
2. 突然の退職等があり、現在は十分でない→問8-1へ
3. 十分に配置されていない状態が従前から続いている→問8-1へ

問8で、「2. 突然の退職等があり、現在は十分でない」「3. 十分に配置されていない状態が従前から続いている」と答えた事業所におたずねします

問8-1 貴事業所において不足している職種をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------------------|-------------------|--------------|
| 1. 看護師、保健師 | 2. 介護職員（実務者研修修了等） | 3. 介護職員（無資格） |
| 4. 主任介護支援専門員 | 5. 介護支援専門員 | 6. 介護福祉士 |
| 7. 社会福祉士 | 8. 理学療法士 | 9. 作業療法士 |
| 10. 言語聴覚士 | 11. 栄養士 | 12. 事務員 |
| 13. その他（ ） | | |

すべての事業所におたずねします

問9 貴事業所において入浴補助、配膳、清掃、ベッドメイクなどに業務を限定した人材（退職した高齢者や子育てなどにより短時間勤務を望む人など）を雇用していますか。

(1つに○)

1. 雇用している→差支えなければ雇用している人数をお答えください。() 人
2. 募集しているが、応募がない
3. 雇用していない

問10 今後、貴事業所において入浴補助、配膳、清掃、ベッドメイクなどに業務を限定した人材（退職した高齢者や子育てなどにより短時間勤務を望む人など）を雇用したいと思いますか。(1つに○)

1. 雇用したい（求人中である）
2. 雇用したい（現在求人は出していない、検討中）
3. 雇用する予定はない

(理由) _____

※差支えなければお答えください。

4. わからない

問 11 過去に離職者がいた施設等におうかがいします。定年退職を除く離職理由として、多いものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 給与・処遇面
2. 職場の人間関係、雰囲気 (上司・同僚との人間関係等)
3. 仕事の内容 (仕事が面白くない等)
4. 利用者への対応 (ハラスメント等)
5. 家族への対応 (ハラスメント等)
6. キャリア形成のイメージがわからない
7. 労働時間が長い
8. 勤務シフトがあわない
9. 夜勤への対応
10. 家族の転勤等に伴う引っ越し
11. 結婚・出産・子育て等のライフイベント
12. 家族の介護・看護
13. 身体的に介護職を継続することが難しくなった
14. 精神的に介護職を継続することが難しくなった
15. 介護職以外にやりたい仕事が見つかった
16. 会社(法人)の理念と合わない
17. その他 ()

委員意見反映分

問12 貴事業所では、職員の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組んでいる
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組んでいる
3. 賃金水準を向上させている
4. 能力や仕事を評価し、賃金などの処遇に反映している
5. 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している
6. キャリアに応じた給与体系を整備している
7. 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている
8. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている
9. 能力開発を充実させている(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)
10. 管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れている
11. 仕事内容の希望を聞いて配置している
12. 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルス対策を含む)
13. 健康対策や健康管理に力を入れている
14. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている(定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等)
15. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている
16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れている
17. 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場作りに力を入れている
18. 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている(カラオケ、ボーリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む)
19. 職場環境を整えている(休憩室、談話室、入社時に座れる席の確保等)
20. 子育て支援を行っている(子ども預かり所を設ける、保育費用支援等)
21. その他()
22. 特に方策はとっていない

問 13 介護人材確保・定着等に対する支援について、以下の中で効果が高いと思うものがありますか。(5つまで○)

【参入促進に向けた取組】

1. 地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進
2. 若者・女性・高齢者など多様な世代を対象とした介護の職場体験
3. 高齢者など地域の住民による生活支援の担い手の養成
4. 介護実習の受入施設・事業所に対し、円滑化に向けた経費の助成
5. 大学や専門学校を対象とした求人活動への援助
6. 介護未経験者に対する支援
7. 中高年の介護就労促進に向けたボランティアセンターとシルバー人材センター等の連携強化事業
8. 介護事業所におけるインターンシップ・職場体験の実施に対する助成
9. 無料で参加できる合同就職説明会（就職フェア）の開催
10. キャリア支援専門員の配置による求人・求職のマッチング機能の強化
11. 介護に関する入門的研修の実施等からマッチングまでの一体的な支援
12. 生活援助従事者研修の受講支援等からマッチングまでの一体的な支援
13. 留学生に対する日本語学習等の課外授業実施への経費の助成
14. 介護施設等による外国人留学生への奨学金等の支給
15. 留学生と介護施設等のマッチング支援

【資質の向上に向けた取組】

16. 介護人材キャリアアップ研修に対する支援
17. 各種研修に係る代替要員の確保に対する助成
18. 潜在介護福祉士の再就業促進に対する助成
19. 認知症ケアに携わる人材育成のための研修に対する助成
20. 権利擁護人材の育成に対する経費の助成
21. 介護予防促進に向けたOT、PT、STからの指導者育成に対する助成

【労働環境・処遇の改善に向けた取組】

22. 新人介護職員に対するエルダー、メンター（新人指導担当者）制度等導入のための研修
23. 管理者等に対する雇用管理改善方策の普及（雇用管理改善の説明会、介護ロボット導入支援等）
24. 介護従事者の子育て支援のための施設内保育施設運営支援
25. 介護サービス事業所等の職員に対するベビーシッターの派遣
26. 外国人を受け入れる施設等への多言語翻訳機の導入支援や、介護福祉士を目指す外国人職員への学習支援
27. その他（)
28. わからない

3. 外国人労働者の受け入れについて

問 14 介護の仕事に携わる外国人労働者を受け入れていますか。(1つに○)

1. 受け入れている→問 14-1・問 14-2へ

(お願いしている業務内容)_____

※差支えなければお答えください。

2. 受け入れていたが、今は受け入れていない→問 14-1・問 14-2へ

(現在、受け入れていない理由)_____

※差支えなければお答えください。

3. 受け入れていない(受け入れたことはない)→問 15 へ

問 14 で「1. 受け入れている」「2. 受け入れていたが、今は受け入れていない」と答えた事業所におたずねします

問 14-1 外国人の雇用に際し、どのようなことを配慮していますか(配慮していましたか)。(あてはまるものすべてに○)

1. コミュニケーションツール(翻訳アプリ等)を導入している(していた)

2. 外国人雇用者向けの相談員、指導員等を配置している(していた)

3. 外国人雇用者の言語で作成したケアマニュアルなどを準備している(していた)

4. 外国人への日常生活等の相談窓口(ひょうご外国人介護実習センター等)を案内している(していた)

5. 住居(寮など)を提供している(していた)

6. 仕事以外の地域・生活面への支援を行っている(いた)

7. 日本人職員に対し、外国人雇用者の国の文化や生活習慣等について研修している(していた)

8. その他()

9. 特にない

問 14-2 外国人労働者を受け入れている上での課題を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 日本人職員との意思疎通に支障がある

2. 利用者等との意思疎通に支障がある

3. 日本語文章力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある

4. 生活習慣等の違いにより、業務に支障がある(宗教上の理由含む)

5. 業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しい

6. 受け入れ外国人の住居の確保が難しい

7. 人件費以外に様々なコストがかかる

8. 人材紹介(斡旋)の手数料が高額

9. ビザの手続きや在留資格の確認などの手続き方法がわからない・複雑である

10. 外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しい

11. いずれ帰国してしまうなど、人材の定着にはつながらない

12. その他()

13. 特にない

問17で「2. 受け入れたいが現在は受け入れていない」「3. 受け入れる予定はない」と答えた事業所におたずねします

問17-2 理由や課題について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. ボランティアを募集したが応募がなかった
2. ボランティアと時間調整等の連絡を行う人的余力がない
3. ボランティアを集める方法(手段)がわからない
4. ボランティアに関する相談窓口が見つからない(わからない)
5. ボランティアの転倒等による怪我のリスクが心配
6. 利用者に抵抗感があると思われる
7. その他()
8. 特になし

すべての事業所におたずねします

問18 貴事業所での地域へのスペース提供(体操やサロン等の実施場所等)について、どのようにお考えですか。(1つに○)

1. 可能(現在も提供している場合も含む)
2. 施設管理等に係るスタッフの配置が必要なため現状は困難であるが、スタッフ人件費相当の補助等があれば可能
3. 施設管理等に係るスタッフを配置できる人的余裕がないため困難
4. スペースに余分がないため困難
5. その他の理由で困難()

問19 事業を運営する上で問題等がありますか。(3つまで○)

1. 今の介護報酬では人材確保・定着のために十分な賃金を支払えない
2. 経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境の改善をしたくてもできない
3. 良質な人材の確保が難しい
4. 新規利用者の確保が難しい
5. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
6. 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
7. 管理者の指導・管理能力が不足している
8. 教育・研修の時間が十分に取れない
9. 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
10. 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
11. 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
12. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
13. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
14. 雇用管理等についての情報や指導が不足している
15. その他()
16. 特に問題はない

調査は以上です。アンケートへのご協力、ありがとうございました。